



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社FUJIIJAPAN
 コード番号 1449 URL <https://www.fujijapan.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
 (氏名) 佐々木 忠幸
 (氏名) 樋口 俊一
 TEL 011-299-5361

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,078	3.6	35	48.3	42	42.1	28	40.7
2019年12月期第3四半期	1,119	16.1	69	63.7	73	68.1	47	38.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	13.32	
2019年12月期第3四半期	22.46	

(注) 1. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	537	321	59.8
2019年12月期	572	293	51.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 321百万円 2019年12月期 293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,522	1.0	47	40.4	54	37.8	36	40.5	16.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	2,130,000 株	2019年12月期	2,130,000 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	株	2019年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	2,130,000 株	2019年12月期3Q	2,130,000 株

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(四半期損益計算書)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費の低迷と経済活動の停滞が続き、緊急事態宣言の解除以降も感染拡大の防止策を講じながら経済活動は再開され始めましたが、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

リフォーム業界におきましては、既存住宅をメンテナンスするリフォーム工事の事業者数は年々増加しており、専門会社以外のハウスメーカーや住宅設備メーカー、ホームセンターなど多岐にわたっております。

このような経済環境の中、当社では、北海道・東北エリアの北ブロックと関東エリアの関東ブロックに分け、この二本柱による営業展開を図り、新型コロナウイルス感染症対策を慎重に行いながら営業活動を行ってまいりました。また、先々を見据えたエリア拡大のための基礎を固めるべく積極的に採用活動を行い、人材育成及び営業力強化に注力した体制作りを継続してまいりました。

しかし、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済及び雇用等に対する先行き不安から、関東エリアを中心に消費マインドの低下が顕著に見られました。

これらにより当第3四半期累計期間における売上高は1,078,711千円（前年同期比3.6%減）、営業利益は35,953千円（前年同期比48.3%減）、経常利益は42,461千円（前年同期比42.1%減）、四半期純利益は28,366千円（前年同期比40.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(外壁リフォーム工事)

外壁リフォーム工事については、主に関東地区において新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、受注数は僅かな減少に留まりましたが、営業部の人員増加及び埼玉支店新規出店等に伴い販売費及び一般管理費が増加したため、売上高は957,988千円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益は116,204千円（前年同期比20.1%減）となりました。

なお、地域ごとの売上高の内訳としては、北ブロック（2支店）687,992千円（前年同期比1.1%増）、関東ブロック（3支店）269,996千円（前年同期比13.5%減）となりました。

(その他リフォーム工事)

その他リフォーム工事については、法人向け工事の受注数が増加したため、売上高は59,911千円（前年同期比33.7%増）、セグメント利益は2,080千円（前年同期比195.3%増）となりました。

(材料販売)

材料販売については、受注数が大幅に減少したため、売上高は60,811千円（前年同期比25.5%減）、セグメント利益は7,918千円（前年同期比25.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は355,370千円となり、前事業年度末と比べ33,295千円減少いたしました。これは主に未成工事支出金が11,440千円増加した一方で、現金及び預金が27,598千円減少、完成工事未収入金が12,353千円減少、原材料及び貯蔵品が5,526千円減少したことによるものであります。固定資産は182,491千円となり、前事業年度末と比べ1,690千円減少いたしました。これは主に保険積立金が1,361千円増加した一方で、工具、器具及び備品が1,350千円減少、ソフトウェアが1,516千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は537,861千円となり、前事業年度末と比べ34,985千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は168,757千円となり、前事業年度末と比べ49,105千円減少いたしました。これは主に短期借入金が20,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が3,000千円減少、未払費用が12,340千円減少、未払法人税等が12,589千円減少したことによるものであります。固定負債は47,729千円となり、前事業年度末と比べ14,247千円減少いたしました。これは主に長期借入金が9,138千円減少、預り敷金保証金が4,243千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は216,486千円となり、前事業年度末と比べ63,352千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は321,375千円となり、前事業年度末と比べ28,366千円増加いたしました。これは四半期純利益28,366千円を計上したことにより、利益剰余金が同額増加したためであります。

この結果、自己資本比率は59.8%（前事業年度末は51.1%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2020年2月13日公表の「2019年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から修正しております。詳細につきましては、2020年8月11日に公表しました「2020年12月期 第2四半期累計業績予想と実績値との差異及び2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	174,187	146,588
完成工事未収入金	156,392	144,039
売掛金	4,317	8,318
原材料及び貯蔵品	32,163	26,637
未成工事支出金	11,725	23,165
前払費用	6,501	5,511
その他	3,378	1,109
流動資産合計	388,665	355,370
固定資産		
有形固定資産		
建物	42,582	43,282
減価償却累計額	△16,511	△17,586
建物（純額）	26,071	25,696
車両運搬具	1,550	1,810
減価償却累計額	△1,049	△1,554
車両運搬具（純額）	500	255
工具、器具及び備品	32,601	36,059
減価償却累計額	△19,436	△24,244
工具、器具及び備品（純額）	13,165	11,814
土地	57,821	57,821
リース資産	10,814	10,814
減価償却累計額	△581	△1,454
リース資産（純額）	10,232	9,359
有形固定資産合計	107,789	104,947
無形固定資産		
ソフトウェア	2,527	1,011
無形固定資産合計	2,527	1,011
投資その他の資産		
敷金及び保証金	60,804	61,364
保険積立金	6,804	8,165
長期前払費用	190	202
繰延税金資産	4,814	5,550
その他	1,250	1,250
投資その他の資産合計	73,864	76,533
固定資産合計	184,182	182,491
資産合計	572,847	537,861

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,564	6,443
工事未払金	87,175	82,647
短期借入金	20,000	-
1年内返済予定の長期借入金	14,184	11,184
リース債務	1,140	1,152
未払金	12,356	7,928
未払費用	41,495	29,154
未払法人税等	14,566	1,976
未成工事受入金	1,369	-
前受金	2,514	6,567
預り金	1,745	3,388
完成工事補償引当金	4,230	4,420
損害賠償引当金	2,149	-
前受収益	314	314
その他	12,057	13,580
流動負債合計	217,862	168,757
固定負債		
長期借入金	16,084	6,946
リース債務	9,004	8,138
預り敷金保証金	36,888	32,644
固定負債合計	61,976	47,729
負債合計	279,838	216,486
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,424	65,424
資本剰余金		
資本準備金	20,424	20,424
資本剰余金合計	20,424	20,424
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	207,161	235,527
利益剰余金合計	207,161	235,527
株主資本合計	293,009	321,375
純資産合計	293,009	321,375
負債純資産合計	572,847	537,861

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	1,037,438	1,017,900
材料売上高	81,667	60,811
売上高合計	※1 1,119,106	※1 1,078,711
売上原価		
完成工事原価	587,343	574,851
材料売上原価	68,096	49,960
売上原価合計	655,440	624,811
売上総利益	463,665	453,899
販売費及び一般管理費	394,065	417,945
営業利益	69,599	35,953
営業外収益		
受取利息	443	441
貸貸収入	2,569	2,569
受取保険金	1,312	3,117
報奨金収入	-	354
その他	476	817
営業外収益合計	4,801	7,300
営業外費用		
支払利息	511	280
貸貸収入原価	351	333
その他	154	179
営業外費用合計	1,017	793
経常利益	73,383	42,461
特別利益		
保険解約益	1,179	-
特別利益合計	1,179	-
特別損失		
固定資産除却損	298	-
損害賠償引当金繰入額	※2 1,553	-
特別損失合計	1,852	-
税引前四半期純利益	72,711	42,461
法人税等	24,881	14,094
四半期純利益	47,829	28,366

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判定・評価にあたり、当社の事業活動における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響については、感染者数再増加により収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、2021年度上期まで続くと仮定を置き、会計上の見積りを行っております。なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(四半期損益計算書)

※1 売上高の季節変動

当社の主要事業である外壁リフォーム工事においては、受注件数が季節によって変動し、冬場と夏場が落ち込み、春先及び秋口に増加する傾向があり、そのため当社の第1四半期会計期間及び第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間に比較して減少する傾向があります。

※2 損害賠償引当金繰入額の内容は次のとおりであります。

自然災害を起因とした工事に対する損害賠償の支払に備えるため、前第3四半期会計期間末において合理的に算定した損失見込額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	外壁リフォーム 工事	その他リフォーム 工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	992,631	44,807	81,667	1,119,106	—	1,119,106
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,595	—	—	4,595	△4,595	—
計	997,226	44,807	81,667	1,123,701	△4,595	1,119,106
セグメント利益	145,430	704	10,642	156,777	△87,177	69,599

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,177千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	外壁リフォーム 工事	その他リフォーム 工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	957,988	59,911	60,811	1,078,711	—	1,078,711
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,707	—	—	3,707	△3,707	—
計	961,696	59,911	60,811	1,082,419	△3,707	1,078,711
セグメント利益	116,204	2,080	7,918	126,203	△90,249	35,953

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△90,249千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。